

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
平成3年6月18日 第12報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(珪) <i>Melosira granulata</i>	1220	◎	○
(珪) <i>Melosira granulata</i> var. <i>angustissima</i>	240		
(珪) <i>Cyclotella</i> sp.	20		
(珪) <i>Skeletonema potamos</i>	260		
(珪) <i>Rhizosolenia longiseta</i>	40		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	220		
(珪) <i>Synedra acus</i>	120		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	80		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	40		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	500		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	160		
(緑) <i>Actinastrum hantzschii</i>	640	○	
(緑) <i>Scenedesmus</i> sp.	80		
(緑) <i>Mougeotia</i> sp.	120		◎
(緑) <i>Glosterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	20		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	2200	58.5	39.4
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	540	14.4	2.4
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	1020	27.1	58.2
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	3760	総体積	6.38E+06
種類数	15	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第1優占種		細胞数 (細胞数/ml)
珪藻綱	<i>Melosira granulata</i>	1220

第2優占種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Actinastrum hantzschii</i>	640

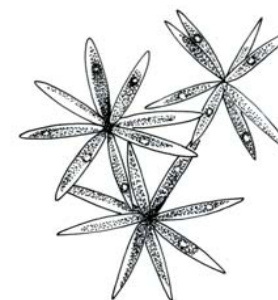
植物プランクトン第1優占種



Melosira granulata
(メロシラグラヌラータ)
珪藻綱

細胞は円筒形で、糸状の群体を形成する。
群体の両端に顕著な長い剛毛を1~3本有する。

植物プランクトン第2優占種



Actinastrum hantzschii
var. *fluviatile*
(アクチナスツルム)
緑藻綱

細胞は細長い紡錘形で4~16個の細胞が
一端で連結し、放射状となる。南湖で春から夏に多く見られる。また、昭和55年8月に
長浜港沖に多かった。